

行事予定表

5	火	絵本の読み聞かせ (14:00) / 給食費振替日 (3歳児以上)
6	水	交通安全教室 (4・5歳児)
7	木	七夕の集合写真撮影
8	金	笹焼き
12	火	ピヨピヨひろば
16	土	夏祭り (4・5歳児)
20	水	おべんとうデー
21	木	ふたばっこまつり (0・1・2・3歳児)
22	金	ふたばっこまつり (4・5歳児)
26	火	巡回相談
27	水	リトミック
28	木	誕生会
29	金	避難訓練



紫陽花の花も色あせ始め、もう半年が過ぎる。南国のスクールのような雨。ポピュリズムの独裁者ばかりの地球もおかしくなったか。今年には空梅雨と猛暑の予報。暑い日は、裸ン坊で水遊びに夢中。牛久の保育園に行くと、廊下いっぱい七夕飾りがキラキラと華やかに。短冊に目をやると、「戦争がなくなり、平和になるように」「コロナが終わり、楽しく遊べるように」胸を突かれた。国民の平和と健康な生活を守るのが使命の為政者に見せてあげたい。

伝えたい「MINDFULNESS」

先週、たいようぐみで育てているミニトマトを小さいクラスの子達が、とってしまおうという出来事がありました。たいようぐみの子ども達は残念な思いで心も沈んだことでしょうか、話し合いの中で「小さいから分からなかったんだよ」「取った方が他のトマトが大きくなるんだよ」等の意見を出してくれました。その後、小さい子たちに分かるようにポスターを作り、「取らないでね」と各クラスへ伝えに行きました。子ども達の優しさと寛大な心に成長を感じ、ミニトマトと子ども達の生長（成長）がますます楽しみになりました。



今月の予定の中から...

※行事については、感染状況によって変更になる事もあります。

●交通安全教室 (6日)

今年度初めて4歳児も参加します。信号の見方・渡り方をパネルシアターを見て、学びます。お子さんの命を守るためにも、送迎時のシートベルトは必ず着用させて下さい。

●七夕のクラス集合写真撮影 (7日)

七夕等の製作物の観覧に来て頂きありがとうございます。7日は、クラスごとに集合写真を撮り、スマートビューで後日配信しますので、9時までの登園をお願いします。

●夏祭り (16日) 4・5歳児のみ

今年、4・5歳児の夏まつりを実施します。太鼓(5歳児のみ)と盆踊り・神輿担ぎを保護者の方に見て頂く予定です。プログラムは後日配布します。また、当日の土曜保育は行いませんので、ご協力をお願いします。

●おべんとうデー (20日)

お家の方の手作りお弁当!子ども達は、毎月楽しみにしています。暑い日が続いていますので、お弁当は必ず冷ましてから蓋を閉め、保冷剤を入れてください。

●ふたばっこまつり (21日) (22日)

21日22日は、園内でふたばっこまつりの日として、出店ごっこやゲーム、盆踊りなどを2クラス毎にホールで楽しむ予定です。

※21日と22日のふたばっこまつりのお手伝い(午前中)をして頂ける方を募集中です。是非、お声掛け下さい。

●誕生会 (28日)

子ども達は、自分の誕生会やお友だちの誕生会もとても楽しみにしています。皆でお祝いする気持ちを大切にしてもらいたいと思っています。

☆お知らせ☆

9/9(金)に観劇を予定しています。今回は、3歳児以上で3部制での実施とします。観劇代は保護者会から出して頂く事になっています。いつもありがとうございます。

「子ども達に希望を語ろう」



小中学校の教育目標は、「生きる力」を育てることです。「生きる力」とは、自ら課題を見つけ、自らが考え、決断し、そして、実行することだと言えます。しかし、それだけでは足りません。実行し、「自ら責任を負う」ところまでいかなければならないと思います。責任を負うとは、行った結果について自らだけでなく、社会に対しても責任を負うことです。自分の周りの人々に対しても、誠実であることです。

えるでしょうか。「生きる力」とは、夢や希望をどれだけ持っているか、で違ってくると思います。ナチスの収容所で生き残った人々は、体力がある人ではなく、生きる「希望」を持っていた人だそうです。人は、先が見えない時、夢や希望を失った時に絶望します。どんなに苦しくとも、一筋の光さえあれば、そこに向かって前進します。ナチスの絶望的な弾圧の中でさえ、ルイ・アラゴンは叫びました。「教えるとは希望を語ること、学ぶとは誠実を胸に刻むこと」と。私たちは、子ども達に希望を語ってきたでしょうか。「希望」を語ることは、人生は楽しい、人といふことは楽しいと言うことを体で覚え、心に浸み込ませることです。楽しい体験と思いつく、たくさん持てる生活を子ども達に与えることです。楽しい体験とは、「自己充実」することです。「自己充実」は目的もなく、ただ遊んでいるだけの時にはありえません。自己課題に挑戦し、失敗を乗り越えた時に実現します。小中学校では、授業がわかり、学校がおもしろい時に、幼稚園では、保育の中心が充実し、園生活が楽しい時に実現します。

日本軍に蹂躪された絶望的な祖国を思いながら「絶望の虚妄なることは希望と同じ」と魯迅は言っています。今、希望を失いかけている日本と世界に問いかけているような気がします。圧倒的な武力と暴虐の中でもウクライナやミャンマーの民衆は屈していません。どん底の今こそ、「希望」の時です。そして、子ども達は未来です。希望そのものです。この子らから、希望、夢を奪うようなことを許してはなりません。

理事長 浅田 精利

